

平成28年度 学校関係者評価報告書

大阪市立難波中学校 学校協議会

1 総括についての評価

運営に関する計画（最終反省）をもとに、本年度の取り組みの全体の説明がなされた後、首席、学力向上担当、他各担当より、個別に目標として挙げていた課題に対する取り組み、またその結果がどうであったか、そして、次に何に取り組んでいくべきなのかが、総括として明らかにされた。教育改革が進む中で、安定した取り組みと、成果を積み重ねてきている。現在、落ち着いた学校の状況の中で生徒たちが学校生活を送っていることは素晴らしいことであり、是非とも継続して、安定した学校生活を送れるように、維持、継続して、校内の規律を守っていってほしい。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：【学力の向上】

様々な取り組みにトライし、長い経年の中で、少しずつではあるが、着実な前進を続けている様子がうかがえる。ICTの活用（タブレットPC等）、個別の指導、補充学習、個々の生徒や、各家庭への理解と配慮の中で継続して続けていってほしい。

年度目標：【道徳心・社会性の育成】

人権総合学習、道徳、特活のみならず、日々の生活や授業の中で、平和やいのちについて、学ぶ機会を持ち、日々取り組んでいる。各学年校訓である「自律・協力・創造」を柱にしながら、今年も引き続き取り組まれている様子がうかがえた。

年度目標：【健康・体力の保持増進】

健康に配慮した生活をしている生徒の数は増加傾向にあるが、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を見ると、全国、府平均を下回っている。保健体育の授業ではリーダーを利用しグループ学習をしたり、ICTを活用しての授業などの工夫にも力を注いでいる。各家庭保護者とも連携しながら、子どもたちの健康管理に努めてもらいたい。

3 今後の学校運営についての意見

年々取り組みは安定した形で行われ、更に多くの結果を残してきているようである。更なる実践と継続をお願いしたい。地域とのボランティア清掃などの取り組みは、地域とふれあう場となり、素晴らしい取り組みになっている。今年の卒業式も昨年度よりもよくなっている。昨年同様、組織力がしっかりとしているからであると考えられる。自信を持って取り組んでもらいたい。